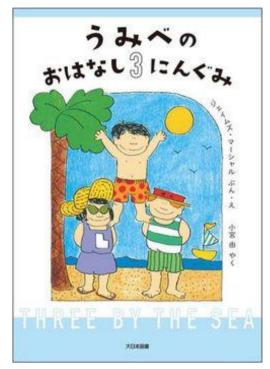
- •『せかいのくにでいただきます!』 野村 たかあき/作・絵 講談社
- 『くみたて』田中 達也/作 福音館書店
- 『なにになれちゃう?』 E チチョーヒカル/作 白泉社
- 『給食室のいちにち』37大塚 菜生/文 イシヤマ アズサ/絵 少年写真新聞社
- 『草のふえをならしたら』 913 // 林原 玉枝/作 竹上 妙/画 福音館書店
- 『ねことわたしのまほうの日』 913 カ かわしま えつこ/作 おくはら ゆめ/絵 ポプラ社

「さがしている本がある」「こんな本がよみたい」など、いつでも、としょかんのひとにこえをかけてください。おまちしています。

TRC・野村不動産パートナーズグループ

はるにれ



『うみべのおはなし3にんぐみ』 93マ ジェイムズ・マーシャル/作 小宮 由/訳 大日本図書

うみべでピクニックをしていたなかよし3人組は、それぞれじぶんでつくったおはなしを、じゅんばんにすることになりました。ねずみ、ねこからはじまるおはなしは、どんどんゆかいにひろがって……。

東久留米市立図書館

ノンフィクションもよんでみよう



『ふじさんにっぽんいち!』 29 ひさかたチャイルド

とおくから富士山をかんさつすると、てっぺんに大きな穴があいている!ちかづいて見ると、いろんな植物や動物もいるよ。日本一高い、富士山についてわかるしゃしん絵本。



『すいどう』 51 百木 一朗/作 福音館書店

すいどうのがはいったいどこからながれてくるの?よごれたがはどこにいくの?わたしたちのせいかつにひつような、すいどうのひみつが、よくわかります。



『かみなり』45

妹尾 堅一郎/監修

音羽電機工業「雷写真コンテスト」/協力ポプラ社

かみなりってどんなもの?どうやっておこるの? ちょっぴりこわいけれど、きれいなかみなりの ことを、しゃしんでしょうかいしているよ。



『えきにいこう みんなのまちのしせつ図鑑 68 ほるぷ出版

顧のあんないばんの見かたや、予どもきっぷの 質いかたなど、ひとりでもでんしゃにのれるように、わかりやすくかかれているよ。 東久留衆を選る西武線がのっています。



『アリのかぞく』486

島田 拓/文 大島 加奈子/絵

福音館書店

じめんの下にあるすので、アリはどんなくらしをしているのかな?女王アリとはたらきアリは、みんなできょうりょくして家族のせわをしたり、すをひろげたりとおおいそがし。



『仏像えほん ぼくとぞうの有頂天たび』 71 店橋 花里/文・絵 肥田 路美/監修 YAMAVICO HAUS

仏像を見たことがあるかな? 博物館で出会った白いぞうがイラストで「仏像のひみつ」をくわしくせつめいしてくれているよ。

おすすめのあたらしいえほん



『2ひきのカエル

そのぼうきれ、どうすんだ?』 <u>E ウ</u>クリス・ウォーメル/作・絵 はた こうしろう/訳 徳間書店

「なんでぼうきれをかかえているの?」「犬 よけのためさ」 池のまん中で2 ひきのカエルがそんな会話をしていると、びっくりするようなことが…!



『おふろのなかのジャングルたんけん』 **Eマ** まつおか たつひで/作・絵 童心社

おふろにはいったら、おもちゃのワニがとつぜん大きくなっておそってきた! その時カヌーにのった 男 の子がたすけにきてくれたと思ったら、いつのまにかそこはジャングルに!



『えんどうまめばあさんと

そらまめじいさんのいそがしい毎日』 区 松岡 享子/原案・文 降矢 なな/文・絵 福音館書店

はたらきもののおじいさんとおばあさん。 きょうも 畑 のえんどうまめの、つるを立てに いったはずだけど、ほかのことが気になって、 ついべつのことをやりたくなってしまいます。



『いい一日ってなあに?』<u>Eア</u> ミーシャ・アーチャー/作 石津 ちひろ/訳 BL 出版

「いい一日をすごしてね!」とみんなに声をかけてもらったダニエルは、おばあちゃんのうちへ向かう中、そのことについて著えます。 みんなやぼくのいい一日ってどんな日だろう?



『びんにいれてごらん』Eマ

デボラ・マルセロ/作 なかがわ ちひろ/訳 光村教育図書

うさぎのルウェリンは、いろいろなものを びんにいれてあつめるのがすき。なかよしの ともだちが、とおくにいってしまってさびし かったけれど、あるすてきなことを思いつき ます。



『まっくらあそびしようよ!』 E ハ はた こうしろう/作 ほるぷ出版

おばあちゃんのうちにとまった愛。ぼくは、へ やがくらくてねむれない。そんな時、お兄ちゃ んがくらやみの中でもあそべる、かげあそびや ライトアートを教えてくれたんだ。

ちょうせんしよう! オススメのよみもの



『わたし、いえた!』 913 ミ 深山 さくら/作 北沢 優子/絵 岩崎書店

2年生のこはるはしいくがかり。水よう日はかかりの3人がクラスでかっている金魚の水がかえをする日。でも、今日はこはる一人でやることに。たった一人でできるのかな?



『いもうとなんかいらない』 93 ダ ロイス・ダンカン/作 小宮 由/訳 平澤 朋子/絵 岩波書店

がさないもうとのスザンヌは、いつもわたしのじゃまばかり。「そうだ、だれかにいもうとをあげちゃおう」と思いつき、いろいろなひとに「スザンヌをもらってくれる?」とたずねます。



『ともだちはしおりのこぶた』 913 マ 真山 みな子/作 山西 ゲンイチ/絵 金の星社

ある日図書館でもらったしおりから本物のこぶたがあらわれた!はじめて一人で本をよむ字に使ってもらう時だけしゃべったり動いたりできるらしい。



『ぞうのフニフと わにのワムくん』 913 ハ はせがわ さとみ/作・絵 佼成出版社

ちょっとおちゃめなフニフとしっかりもののワムくんはとってもなかよしなお覧だち。 質のかくれがをさがしてかごにのって空をとんだり、ゆかいな4つのおはなしが書かれているよ。



『やまの動物病院』913 ナなかがわ ちひろ/作・絵 徳間書店

動物病院のまちの先生とくらすねこのとらまるは、でになると自分がおいしゃさんにだいへんしん。「たよれる名医」のとらまるは、世の動物たちの病気もハプニングもみごとかいけつしてみせます。



『かがみのなかのボクとぼく』 913 ア あんず ゆき/作 くすはら 順子/絵 文研出版

きもちがばくはつしていじわるばかりする リクは、ある自かがみの中の自分に きをかけ られる。リクはかがみの中の世界にすいこま れ、なりたいものになってあそびはじめるけれど…。